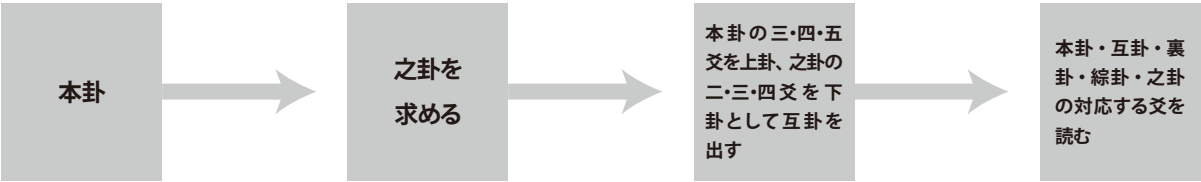


















































































# Ⅰ 互卦・裏卦・綜卦・之卦



互卦	<p>卦の本質をあらわす『互卦』</p> <p>象意：本質・中心・根本・理想</p> <p>互卦は本卦の本質部分を観ることで問題解決の糸口を探る卦。勢いの弱い初爻と無位である上爻を除いた、中心の二・三・四・五爻の本卦を持つ本質的で中心的な所があらわれるので、互卦は本質的に観る事に用います。地沢臨の互卦は地雷復ですが、行き詰っていた所から心機一転して現状を打破していく臨機応変力が身についてくるという様な本質的な部分が観えてきます。</p>	<p>占筮で得た本卦の二・三・四爻を内卦に見立て、三・四・五爻を外卦と見立てて完成した卦が『互卦』</p> <p>本卦が「地天泰二爻」の場合変爻後の之卦が「地火明夷二爻」。之卦の二、三、四爻を下卦、本卦の三、四、五爻を上卦にする。下卦が「坎(かん)」上卦が「震(しん)」になり「雷水解(らいすいかい)」になるので、その「二爻」を見れば良い。</p>
錯卦 裏卦	<p>錯卦：本卦の陰陽を裏返した卦</p> <p>逆転・逆説・裏側・悲観的</p> <p>裏卦は「陰陽」を逆転させることで本卦の裏側を観、本質を探る。「頑張っている＝大変なことに挑戦している」「上手く行かない＝成長中、現時点で達成出来ないことを出来る様になろうとしている」というように「陰陽」を逆転させると見えてくるものがある。卦を逆説的に観るという事になり、逆の方向に進んだ時はどうなるか、物事が裏目にでたらどうするかという、悲観的な目線を持って、何を為すべきなのかを暗示します。水火既済の錯卦は火水未済となって、物事が極まって完成を見ると、その後には必ず崩壊するという事を観る事ができる。</p>	<p>占筮で得た本卦の爻の位置は変えずにそのままにして、陰と陽を全て逆転させるのが『錯卦』。</p>
綜卦	<p>現実的な陰陽変化『綜卦』</p> <p>象意：第三者的視点・客観的・全体・現実</p> <p>綜卦は本卦を第三者的視点で観た場合の卦。運命を客観的に観る場合に用る。例えば沢水困の本卦を得た場合、綜卦は水風井となり、沢水困の困難は客観的に観れば水風井の自己修養であり、現在行っている事は的を射るので大いに努力しなさいという易断を下す。自分から見る視点と、他人から見る視点が加わるから全体像が掴めて現実的な判断を下す事が叶う。</p>	<p>占筮で得た本卦を 180 度回転させた卦が『綜卦』</p>
変卦 之卦	<p>中期的な未来の陰陽変化『之卦』</p> <p>象意：中期的・実現・次の転開・能動</p> <p>中期的な未来の運命を予見する。乾为天九五を本卦で得ると、九五を陰に変爻させ火天大有になり、これを乾为天から火天大有に『ゆく』と言う。例えば乾为天九五から火天大有に之くとなれば、龍が天に昇るが如く好調を維持しながら、後に大きな力や勢力を所有するであろうと易断を下す。次の展開が分かるからこそ、運命の流れに従って能動的に動いて物事を実現していく事ができる。</p>	<p>占筮で得た本卦の変爻が陰であれば陽に変化させ、陰であれば陽に変化させて現れた卦が『之卦』。</p>

# 六十卦一覽表

								
	乾(天)	兌(沢)	離(火)	震(雷)	巽(風)	坎(水)	艮(山)	坤(地)
								
乾(天)	1: 乾為天	43: 沢天夬	14: 火天大有	34: 雷天大壯	9: 風天小畜	5: 水天需	26: 山天大畜	11: 地天泰
								
兌(沢)	10: 天沢履	58: 兌為沢	38: 火沢睽	54: 雷沢歸妹	61: 風沢中孚	60: 水沢節	41: 山沢損	19: 地沢臨
								
離(火)	13: 天火同人	49: 沢火革	30: 離為火	55: 雷火豐	37: 風火家人	63: 水火既濟	22: 山火賁	36: 地火明夷
								
震(雷)	25: 天雷无妄	17: 沢雷随	21: 火雷噬嗑	51: 震為雷	42: 風雷益	3: 水雷屯	27: 山雷頤	24: 地雷復
								
巽(風)	44: 天風姤	28: 沢風大過	50: 火風鼎	32: 雷風恒	57: 巽為風	48: 水風井	18: 山風蠱	46: 地風升
								
坎(水)	6: 天水訟	47: 沢水困	64: 火水未濟	40: 雷水解	59: 風水渙	29: 坎為水	4: 山水蒙	7: 地水師
								
艮(山)	33: 天山遯	31: 沢山咸	56: 火山旅	62: 雷山小過	53: 風山漸	39: 水山蹇	52: 艮為山	15: 地山謙
								
坤(地)	12: 天地否	45: 沢地萃	35: 火地晋	16: 雷地豫	20: 風地觀	8: 水地比	23: 山地剝	2: 坤為地

<b>本 卦</b> 60% 程度			
<b>之 卦</b> 中 期 的・実 現 次の転開・能動			
<b>互 卦</b> 本 質・中 心 根 本・理 想			
<b>裏 卦</b> 過去の状態・逆説 裏側・悲観的			
<b>綜 卦</b> 第三者の視点 客観的・全体・現実			

<b>本 卦</b>			
<b>之 卦</b> 中 期 的・実 現 次の転開・能動			
<b>互 卦</b> 本 質・中 心 根 本・理 想			
<b>裏 卦</b> 過去の状態・逆説 裏側・悲観的			
<b>綜 卦</b> 第三者の視点 客観的・全体・現実			

# 1. ䷀ 乾為天(けんいてん) 今こそ進むとき

キーワード：強い・明るい・積極的・剛健・  
創始・高尚・君臨・命令・偉大・横暴・  
多忙不休・常人には凶・自信過剰

陽が重なった強い卦。乾＝健。健やかで止むことのない天の働き。宇宙の広大無辺なる広さと、際限のないエネルギー、運行してやまない活動力、何物をも支配する巨大な力と、万物を産み育てる原動力など、我々人間を含む万生物の根源的な存在としての天を表現している。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
1: 乾為天	2: 坤為地	1: 乾為天	44: 天風姤	13: 天火同人	10: 天沢履	09: 風天小畜	14: 火天大有	43: 沢天夬

卦 辞	乾は元(おお)いに亨る。貞(ただ)しきに利(よ)ろし。	のぞみは大いに通る。正しい態度を取ることが重要。
初 九	潜竜なり。用うるなかれ。	力量不足のため、才徳を用うるべきではない。
九 二	見竜田にあり。大人を見るに利ろし。	潜んでいた龍が地上に現るようになり才徳が明らかになった。徳のある人物に認められ成長するのがよい
九 三	君子終日乾乾し、夕べに惕若(てきじゃく)たり。厲(あや)うけれども咎(とが)なし。	徳が高い人が終日勤勉にし、夜には反省を忘れない。危ういことがあってもトラブルは免れる。
九 四	或いは躍りて淵に在り。咎なし。	躍進する力があっても深淵でさらに様子をみる。そのような態度であれば咎を免れる。
九 五	飛龍天に在り。大人を見るに利ろし。	龍は天に昇り力を発揮している。優秀な人物を見出して力を借りると良い。
上 九	亢竜なり。悔いあり。	昇り過ぎた龍は悔やむことになる。
用九(特別)	群竜首(かしら)なきを見る。吉なり。	群がる龍の頭以外を見る。(そのようにひけらかさず慎ましい様が)吉となる。

運 勢	大人物は風雲に乗じて飛躍する。拡大のとき。 状況によっては進みすぎて進退に苦むタイミング。またすでに盛況を迎えている時は衰退への兆し
願 望	凡人には望みが高すぎて空転する恐れ。多欲は失望に変わるため、退いて常を守ること。
恋愛・関係	お互いに主張が強く親和が得られず。今は万事控えめにする方が良い。
結 婚	相互が高望みしてまとまり難い。結婚を迎えられたとしても、婚後は特に女性が強く衝突しがち。離別もあり。
性 格	剛健、積極的、自尊心が強い、リーダーシップ、高慢
事業・方策	力量以上の拡大は荷が重い。元の通りにした方が良い。
住 居	必要以上の新築、増改築は見合わすべき。移転は先に延ばすが吉。
相 場	低落が続いていた場合はいったん底を打つ。上昇傾向にあるものは天井圏内へ。ただし、性急な判断は控えるよう
旅 行	観光はトラブルあり凶。公的なもの、用のあるものは吉。
病 気	頭痛、脳出血、頭部のけが、胸部・心臓の疾患、骨の疾患(乾は骨、坤は肉)、大熱。病勢が激変する恐れがあるため治療を怠らないよう注意。

## 2. ䷁ 坤為地(こんいち) 全てを受け止めて豊かに育む

キーワード：受容・受動・柔順・従う・温厚・寛容・苦勞・多数・常人・平凡・現状維持・忍耐力・降伏・大地・消極的・大人しい

純陰の卦。地の得の肥大を象っている。天の能動性に対する受け身の姿勢。女性を意味する。天の気を従順に受け入れることによって生じた、全ての生物を産み育てる慈悲深い育成の徳。大地だけでは万物を育てることはできない。天のエネルギーあつてこそである。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
2: 坤為地	1: 乾為天	2: 坤為地	24: 地雷復	07: 地水師	15: 地山謙	16: 雷地豫	08: 水地比	23: 山地剥










卦 辞	坤は、おおいにとおる。牝馬(ひんば)の貞によるし。君子ゆくところ有るに、先んずれば迷い、後るれば主を得る。西南に朋を得、東北に朋を喪(うしな)うによるし。貞に安んずれば吉なり	望みは大いに通る。君子でも人の先に立てば迷って道を失い、人に従うように心がければ主人を得て迷うことがない。西南では友を得、東北では友を失うが従順であれば夫を得る。貞正を受け入れることが吉
初 六	霜を履(ふ)みて堅氷(けんぴょう)至る。	薄い霜を踏んだ時には、硬い氷が張る兆しであることを思い至らねばならない
六 二	直・方・大(ちよくほうだい)なり。習わざれば利ろしからざるなし。	素直さ・行いの正しさ・盛大という地の徳を備えている。習わなくても自ずと全てによるしきを得る。
六 三	章(あや)を含みて貞にすべし。或(ある)いは王事に従うも成すことなくして終り有り。	才能を隠して慎み深くするのが良い。王命に従う時も自分の手柄を誇らずいることで最後には良い結果となる
六 四	囊(ふくろ)を括(くく)る。咎(とが)もなく、誉(ほまれ)もなし。	上卦の下にあつて正は得るが中は得ず危険な状態。知恵を隠して言動を慎めば、賞賛もないが過ちも犯さず無難
六 五	黄裳(こうしょう)、元吉(げんきつ)なり。	黄裳を身につけるように謙虚で中正の徳を守るとは、大いに吉である。
上 六	竜野(や)に戦う、その血玄黄(げんおう)。	陰が極まって龍のようになり、陽の龍と野で戦っている。片方は黒(天の色)い血を、もう一方は黄色(地の色)い血を流して傷つけあう。
用六(特別)	永貞(えいてい)に利あり。	慎ましき、正しさを永く保つのが良い。

運 勢	気迷いが多く決断つかず、世話苦勞が多い時。強力なリーダーに従い、縁の下の力持ちに徹すると吉。
願 望	目上に従うことで、徐々に叶う。気長に継続的に努力すること。
恋愛関係	活気に乏しく地味な仲。互いに様子をうかがって進展なし。明瞭な意思表示が必要。
結 婚	決断つかず、まとまりにくい。次第に整う。婚後は平凡だが安穩な生活となる。
性 格	受身な性格で内向的。家庭的な女性のように。
事業・方策	自分が主体にならないよう、共同で実施するかサポート役に徹するべし。みだりに変更することは凶となる。
住 居	多少の不満はあっても辛抱すること。増改築は可。移転は時期ではない。
相 場	低落しつつあるものはやがて上昇するが、上昇波乱の時は今が天井。見通し困難。
旅 行	平安な旅。西南は同行者がいると良く、東北は一人が良い。帰省は吉。
病 気	鬱、健忘症、過労、胃腸・脾臓・肝臓など腹部の疾患、皮膚病。病勢は良くも悪くも安定、病は進行もしないが治癒も進捗せず。気力が大切。

3. 水雷屯(すいらいちゅん) 生みの苦しみ

キーワード：始まりの困難、生みの苦しみ、伸び悩み、行き悩み、苦しみ、短慮、忍耐、前方に障害

外卦は坎（剣難）内卦は震（芽）。天と地の気が初めて交わり、万物を生じる生みの苦しみ。稲妻が走る混沌の中に秩序が生まれる。寒く困難の多い外に出ようとする芽ばえの苦しさのように最初は困難が伴うが、時がくれば暖くなり、すくすくと成長することができる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
23: 山地剥	50: 火風鼎	04: 山水蒙	08: 水地比	60: 水沢節	63: 水火既濟	17: 沢雷随	24: 地雷復	42: 風雷益








卦 辞	屯は元いに亨る。貞しきに利あり。 用て往くところあるなかれ。侯(きみ)を建つるに利ろし	今は生みの苦しみの時期だが、いずれ望みは大いに通る。 正しい生き方をすること。まだ事を進めてはならない。 協力者を得て秩序を築くと良い
初 九	磐桓(はんかん)す。貞に居(お)るに利ろし。 侯(きみ)を建つるに利ろし。	進みにくく躊躇する。慎重しく正しい態度でいると良い。 有力な協力者に実行役を任せると良い。
六 二	屯如(ちゅんじょ)たり。遭如(たんじょ)たり。 乗馬班如(はんじょ)たり。寇(あた)するにあらず。婚媾(こんこう)せんとなす。 女子貞(てい)にして字せず、十年にして乃(すなわ)ち字す。	害を与えようとしているのではなく、婚姻を求められているが 滞り、行き悩み、馬に乗ってぐるぐる回っている。女性は他の男性のために 正道を守っていて、十年経てばようやく結ばれる。
六 三	鹿に即(つ)くに虞(ぐ)なし。ただ林中に入る。 君子幾をみて舍(や)むに如かず。往けば吝(りん)。	鹿を追いかけるのに案内人がおらずただ林の中に迷い込む。 賢い人は危険を察してやめておいた方がいい。追えば良くない。
六 四	乗馬班如(はんじょ)たり。 婚媾(こんこう)を求めて往けば吉、利あらざるなし	二人に求婚されて板挟みで迷っているが 婚姻(協力・関係)を求めて行けば吉、うまくいくだろう
九 五	その膏(めぐみ)を屯(とどこお)らす。小貞は吉。大貞は凶。	剣難の真つ只中であって恵みを持っていても施すことができない。 正道を守って小さいことからコツコツと執り行うのは吉であるが、 大変革に固執する(貞)と凶を免れない。
上 六	乗馬班如(はんじょ)たり。 泣血(きゅうけつ)連如(れんじょ)たり。	馬に乗ってぐるぐる回って悩んでいる。 悲しみのあまり血の涙を流し、際限なく泣き続ける。

運 勢	あらゆることを始めるには、困難が伴う。難しい境遇を乗り越えるために努力が必要な時。 今は困難であるが、のちに光明が見える。
願 望	悩みや難しさが多いが、辛抱の後に思いは叶う。
恋愛・関係	障害があり当分は思い通りにならない仲。よき理解者を得ると吉。
結 婚	進展しにくい。結婚してもしばらく困難あり。辛抱の後に成立する。 関係が始まったばかりで未熟だが、誠実に進めば育まれる。
性 格	内に秘めているものは多いが、内向的な性格。才能があるものの下積みで苦しむ。
事業・方策	新規事業には苦労が伴うが、将来的に実る。既存のことは前進に難あり。障害を取り去る努力が必要となる。 情熱とアイデア(雷雨)があるが、まだ組織は未整備(草昧)、人材登用(建侯)と継続的努力が必要。
住 居	悩みがある時。新築は思うように進まず。
相 場	環境や材料が良くないが底堅い。次第に上昇する兆しはあるものの、油断は禁物。
旅 行	旅行先でトラブルが起きやすい。可能なら機を改める方が良い。
病 気	消化不良、食もたれ、腎臓、下痢、女性はホルモンバランスの乱れ、子どもはてんかん、歩行が困難となる病気。 初期症状が明確でなく判断しづらい。急変はしないが長引くケースが多い。湿気、寒気、冷気に注意。

#### 4. 山水蒙(さんすいもう) 若気の愚かさと教育

キーワード：蒙昧、幼稚、稚拙、初心、初歩、  
気迷い、経験不足、思慮不足、世間知らず、  
努力と助力の相乗効果、子どもの心配

山に霧がかかって全貌がはっきり見えず、行くべき方向が定まらない。天地が交わって「屯」が生まれ、生じたばかりでまだ未熟で幼稚な状態が「蒙」である。物が生じた当初は蒙昧であるため、屯の次に置かれる。独力で問題を乗り越えるには限界がある。先人に教えを請い、周囲の話を耳を傾けるべき時。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
24: 地雷復	49: 沢火革	3: 水雷屯	41: 山沢損	23: 山地剥	18: 山風蠱	64: 火水未済	59: 風水渙	07: 地水師

卦 辞	蒙は、亨る。我より童蒙を求むるにあらず。童蒙より我に求む。初筮(しよぜい)は告ぐ。再三すれば瀆(けが)る。瀆るれば則ち告げず。貞しきに利ろし。	蒙昧さが教育によって啓れることで望みは通る。教育とは師から与えようとするものではなく、生徒の方から求めて教えを乞うべきである。同じことを何度も占うと正しい答えは得られなくなる。真摯に向き合うと良い。
初 六	蒙を筮(ひら)く。用て人を刑するに利ろし。 用て桎梏(しつこく)を説き、以て往けば吝(りん)。	無知を初めて啓(ひら)く時期には、厳しく(罰)人を正す方が良い。 手枷足枷を外して自由にさせることはかえって為にならない。
九 二	蒙を包(か)ぬ、吉なり。 婦(つま)を納(い)る、吉なり。子、家を克(よ)くす。	蒙を包容して教育を行い吉である。妻として受け入れるのも吉である。 子供であれば立派に育ち、よく家を治めるようになる。
六 三	女を取(めと)るに用うるなかれ。金夫(きんぷ)を見て、 躬(み)を有(たも)たず。利しきところなし。	女を娶ってはいけな。金のある男に目がくらんで、 身を任せるような女である。良いことは一つもない。
六 四	蒙に困(くる)しむ、吝(りん)なり。	蒙を導いてくれる人がおらず、 無知蒙昧に苦しんでいて良くない。
六 五	童蒙、吉なり。	蒙昧ながらも素直で純粋なさまが吉となる。
上 九	蒙を撃つ。寇(あだ)をなすに利ろしからず、 寇を禦(ふせ)ぐに利ろし。	蒙昧なものが思い上がっている。攻撃(寇)すると反発を生みかえって良くない。 外部からの攻撃や誘惑を防ぐようにすると良い。










運 勢	蒙昧、幼稚、稚拙、初心、初歩、気迷い、思慮不足による失敗、努力と助力の相乗効果、子どもの心配
願 望	初めはらちが明かないことも、次第に伸展していく。現在の研鑽が将来の吉凶に大きく影響する。
恋愛・関係	人間性が未熟なため悩みが多く親しくなれない。家庭の事情のため進展しないこともある。
結 婚	表面に出ない障害や悩み事がある。そのまま結婚してしまうと先行き悪い。時期尚早のため延期するのが良い。
性 格	情に厚く誠実だが、抜けているところがあり理解力に乏しい。
事業・方策	方針が十分でなく幼稚。目上の指導を仰ぐべし。
住 居	不備の多い家。特に雨漏りに注意。移転の場合は当分見合わす方が良い。
相 場	好材料がなく低迷が続けるが、長期的には期待が持てる。手出しをするなら当分は慎重に。
旅 行	心配事あり、取り止める方が良い。旅先では不愉快なことが多く、天気も良くない。
病 気	ノイローゼ、神経衰弱、耳鼻の病、肺の疾患、小腸の疾患、下痢、冷え性、腎臓病、手足の痛み、動脈硬化、女性ホルモンの乱れ。外見では判断しづらい内面の病気。薬の効き目が弱く、治療は長引く。



5. ䷄ 水天需(すいてんじゅ)  
恵みの雨を待つ

キーワード：待機中の栄養、忍耐、待機中、  
栄養補給、待つ、求める

序卦伝によると、需とは「飲食の道」であり、物が幼いときは養わなければならないので、蒙の次に置かれるという。また彖伝では需とは「須（まつ）」であると説く。天に止まっている雨が降るのを待っている。地にとって雨は栄養であり養いの水。生物が生命を維持する為に飲食が必須のように、地は雨による潤いを求め、待っている。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
38: 火沢睽	35: 火地晋	06: 天水訟	48: 水風井	63: 水火既濟	60: 水沢節	43: 沢天夬	11: 地天泰	09: 風天小畜

卦 辞	需は孚(まこと)あり、光(おお)いに享る。貞なれば吉なり。 大川(たいせん)を涉(わた)るに利ろし。	真心を持って待てば望みは大いに通る。正しい生き方をするのが 良い。機会が訪れたなら、大きな事を決行しても良い。
初 九	郊(こう)に需(ま)つ。恒(つね)を用うるに利あり。咎なし。	郊外で待っている。平常心を保っていればよい。 そうすれば問題は起こらない。
九 二	沙(すな)に需(ま)つ。 小(すこ)しく言(こと)あれど、終(つい)には吉なり。	砂地(不安定な場所)で待つ。 多少非難されることがあっても、最終的には吉となる。
九 三	泥(ひじりこ)に需(ま)つ。寇(あだ)の至るを致す。	ぬかるみにで待っているので敵や災いを引き寄せてしまう。
六 四	血に需(ま)つ。穴より出(い)ず。	血だまりで待つ。最後には穴から抜け出せる。 危険な状況でも辛抱強く待てば 最後には抜け出せる。
九 五	酒食(しゅし)に需(ま)つ。貞(てい)なれば吉。	飲食の場において待つ。正しければ吉。 日常生活をおくりながら穏やかにチャンス进行。
上 六	穴に入る。速(まね)かざるの客三人あつて来(きた)る。これ を敬(つつし)むときは終(つい)に吉なり。	窮地に陥る。思いがけない来客が助けに来てくれるので 敬意をつくして対応すれば最終的には吉。










運 勢	実力を蓄え、英気を養ってチャンスを待つべき時。焦らずに余裕のある姿勢が必要。 飲食の機会に運気が変わる。住居、旅行では災難に注意。
願 望	機が熟すのを待ってから進むと吉。積極性は抑えて受身で勝負すべし。しばらく待てば叶う。 待望は先に延ばす方が良い。
恋愛・関係	なかなか仲が深まることはない上に、焦って無理押しするとトラブルのもと。先方に悪策がある場合もある。 注意しながら時を待つべし。飲食を機に親和したり問題が生じたりすることあり
結 婚	周囲の理解や協力が得られないため進展せず。心を落ち着けてチャンスを待てば自然に整う。 すぐに結婚をすると当分は安定しない。先行きには希望が持てる。
性 格	内に勇気を秘めた大望あり。辛抱強くチャンスを待つ人。しっかり型。将来の成長株。
事業・方策	進むと不利。静観しながら力を蓄え、時を待つのが得策。
住 居	新築・増改築・移転、すべて見合わせるべし。時期はまだ先。
相 場	上昇の兆しはあるが、まだその時ではない。待てば高騰する勢いが見られる。
旅 行	強行すると思わぬトラブルあり。延期するのが良い。旅先では悪天候に見舞われるか、食中毒の恐れ。
病 気	頭痛、消化不良、中耳炎、肺の疾患、胃腸の疾患、怪我など。 軽症と思って油断していると重症となり、性急に治療すると体にダメージが残る。慎重な判断が必要。



6. 天水訟(てんすいしょう) 争いの愚かさと対処法

キーワード：訴訟・論訟・訴え・争う・食い違い・裏切り・和解すべき時・紛争・不一致・対立・ストレス・論争・口論・分裂抗争

天は上に昇り、水は下に流れ、それぞれ行動の方向が異なるため背き争う(天水違行)。天から雨が降っている象であり、異常な事態ではない。取り立てて争いや対立を深める方が不自然なことである。序卦伝によると、訟とは「訟(うったえる・あらそう)」であり、飲食にはあらそいがつきまとうので、需の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
37: 風火家人	36: 地火明夷	05: 水天需	10: 天沢履	12: 天地否	44: 天風姤	59: 風水渙	64: 火水未濟	47: 沢水困









卦 辞	訟は孚(まこと)ありて塞がる。惕(おそ)れて中すれば吉。終われば凶。大人を見るに利ろし。大川を渉るに利ろしからず。	正しくてもお互いが正しいと思っているので閉塞状態に陥る。畏れ謹んで中道に適った行動をすると吉。最後まで争うのは凶。人格者の助けを求めるのがよく、大ごとにしてもいいことがない
初 六	事とするとところを永くせず。小(すこ)しく言(ものい)うことあれども、終(つい)に吉なり。	多少の口論や争論が起こっても、こじれさせずに早急に折れれば結果的には吉。
九 二	訟に克(か)たず。帰(かへ)りて逋(の)る。その邑人(ゆうじん)三百戸、眚(わざわい)なし。	訴訟に勝て図に退き下がって逃れる。ふるさとにの村民三百戸には災いは及ばない。
六 三	旧徳に食(は)む。貞(てい)なれば厲(あやう)けれども終(つい)には吉。或いは王事に従うとも成すことなかれ。	古くからの徳に基づいて事を行う。正しさを守れば危ういこともあるが、最後には吉となる。たとえ王の仕事に従事しても、あえて大きな成果を成し遂げず控えるべきである。
九 四	訟に克(か)たず。復(かえ)って命に即(つ)き、渝(かえ)りて、貞に安んずれば、吉なり。	争いに勝つことはできない。引き返して天命に従い、心を改めて正しい道に安んじれば、吉となる。
九 五	訟(うった)え元吉(げんきつ)なり。	争いは、正しい立場にあり、中正を守って行うなら大吉。しかし中正を失えば、結局は凶となる。公正で徳のある人物(大人)に判断を仰げば吉。危険な大きな行動は避けたほうがよい。
上 九	或いはこれに鞶帯(はんたい)を錫(たま)う。終朝(しゅうちよう)に三たびこれを褫(うば)わん。	勝って名誉や地位(鞶帯)を得ることがあっても、それは長続きせず、その日のうちに何度も奪われるような不安定な立場である。

運 勢	口論や争いごとが多く、人間関係の円滑さを欠きやすい時。特に目上との争いに注意。負けるが勝ち。謙虚にして控えめが吉。
願 望	手違い多く叶い難い。目標が状況と一致せず、変更の必要あり。
恋愛・関係	意見の食い違いや考え方のずれにより関係悪い。争いごとが原因となり離別の恐れあり。こちらから相手に歩み寄ることが大切。
結 婚	とにかく争いごとが多い。絶えず別居、離縁の恐れあり。縁談は断る方がよい。不和の末に裁判問題などが起きる傾向。
性 格	人に逆らい、周囲と合わせづらい。理屈っぽい性格。敵の多い人。
事業・方策	社会的な問題が起きやすい。企業は内部の親睦を深めると吉。個人は目上の命令に従うべし。
住 居	賃借に関係する争いごとが起きやすい。移転を考える時。新築、増築、改築は不可。
相 場	材料と価格が一致していない。高い場合は下降し、低い場合は上昇する。不安定な時。
旅 行	無理に実施すると手違いが生じる。何か支障あれば中止するのが良い。正確な手続きを心掛ける。
病 気	頭痛、ノイローゼ、下痢、不眠。治りづらい。医師の誤診や薬の不適合に注意。

## 7. ䷆ 地水師 (ちすいし) いかに戦うか

キーワード：戦い・非常事態・組織的規律・  
軍団・集団・軍・軍隊・グループ・リーダー・  
リーダーシップ・司令官・指導者

師は師団の意。軍隊、戦争を表す。下の卦にある陽爻が衆衆に押され、統率する将となって戦いに赴く象。地の下に水があり地の上に水がない。水飢饉によって地中に隠された大切な水を他国が奪いにくる。それに対していかに対応するか。序卦伝によると、あらいそいがあると衆衆が立ち上がるので、訟の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
24: 地雷復	13: 天火同人	08: 水地比	19: 地沢臨	02: 坤為地	46: 地風升	40: 雷水解	29: 坎為水	04: 山水蒙

卦 辞	師は貞。丈人(じょうじん)なれば、吉にして、咎なし。	大きな組織や集団を動かすには正義を軸とし、経験豊かで公平なリーダーを置けば吉である。
初 六	師(いくさ)出ずるに律を以てす。 否(しか)らざれば臧(よ)きも凶(きょう)なり。	軍は、出発にあたり法令・規律をもって行うが、閉塞の状況であれば良いことをしても凶(悪い結果)となる。
九 二	師中(しちゅう)にあり。吉にして咎なし。 王三たび命を錫(たま)う。	軍の中枢にあつて中庸を守っている。吉であり過ちがない。 王から三度にわたって命を賜うほど信頼と栄誉を得る。
六 三	師(いくさ)或いは尸(かばね)を輿(にな)う。凶なり。	戦は時に屍を乗せて運ぶような事態にもなる。 これは凶(不吉)である。
六 四	師(いくさ)左りに次(やど)る。咎なし。	軍隊は、左にいったん退却して宿営する。 そうしても過ち(問題)はない。
六 五	田(かり)して禽(えもの)あり。執言(しつげん)に利あり。咎なし。長子師(いくさ)を帥(ひき)ゆ。弟子(ていし)尸(かばね)を輿(にな)う。貞なるも凶。	狩をして獲物があるように、努力や準備が報われる。言葉を守守ることに利益があり、咎められることはない。長男が軍隊を率いるが、部下である弟は死者を運ぶことになる。正しい行いであっても、結果は凶(悪いもの)である。
上 六	大君(たいくん)命あり。国を開き家を承(う)く。 小人は用うるなかれ。	偉大な君主からの命令で功労者には国家を開かせ、家を継承させる。 卑しい小人は人物を排除し、正しい者を重用するべきである。

運 勢	力量ある人は周りを率いて事を起こす。常人は困難多く、思わぬ災害に注意すべき時。 争いごとが発展して非常事態になる恐れあり。多勢を相手に一人で立ち向かわなければいけないことも。
願 望	心配事が多く、願望は叶わない。分相応であれば兆しあり。 計画を慎重に練って、円滑な人間関係に気を遣うこと。
恋愛・関係	人目を忍んで隠れて進めるような恋愛。 多角関係から争いごとが起き、大きなトラブルとなりかねない。周囲との親和を重んじる方が良い。
結 婚	相手が浮気性のため、断ると無事な縁。正式な婚姻関係は結ばず、同棲や内縁といった関係となる傾向。 争いごとが起きやすく、関係を保つのは困難である
性 格	闘争心が強い。内には才能を秘め、外には出さず。 人の上に立てる人物。軍人、警察官になると良い。
事業・方策	非常事態が起きやすく、綿密な打開策を練る必要あり。 やり手の部下を抜擢すると吉。
住 居	現在の住居では平安得られない。 しかし、新築、増改築も困難を伴う。時期を待つべし。
相 場	波乱含みの様相で下落の気配あるが、研究不足は大きな損害を被る。 急騰したり急落したりすることもある。
旅 行	団体旅行をする際には、引率者の力量に注意。 リーダーシップが弱いと凶。
病 気	中耳炎、腹痛、結石、腎臓病、月経不順など。 激痛を伴うことが多く、迅速な治療が必要。長期の病気は急変に注意。

## 8. 水地比(すいちひ) 人との親しみ方を学ぶ

キーワード：親和、親睦、平安、比隣、比肩、比翼、親しみ助け合う

水が地上にあって、水と地が良く親しんでいる。大地は水によって潤い、育成、慈愛を発揮する。地は水を得て柔らかくなり、水は地の存在によって流れ、お互いが助け合っている。序卦伝には大衆すなわち人と人は親しむので、師の次に置かれるという。吉運はなるべく早めにつかむようにすること。早ければ十四日以内に事を終える方が良い。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
23: 山地剥	14: 火天大有	07: 地水師	03: 水雷屯	29: 坎為水	39: 水山蹇	45: 沢地萃	02: 坤為地	20: 風地觀









卦 辞	比は吉。原筮(げんぜい)するに元永貞にして、咎なし。寧(ねい)からざるものまさに来る。後夫(こうふ)は凶。	初めに慎重に占って、正しい道を守り続けるならば問題はない。不安定なものがこれからやってくる。後に関わる者は凶である。
初 六	孚ありてこれに比す。咎なし。孚ありて缶(ほとぎ)に盈(み)つれば、終(つい)に來りて他の吉あり。	誠実さがあって親しく結びつけば、問題はない。誠実さで満たされれば、最終的に他に良いことがやってくる。
六 二	これに比(ひ)すること内よりす。貞(てい)にして吉なり。	身近な者から親睦を深めると良い。それこそが正道であり吉を招く
六 三	これに比(ひ)する、人にあらず。	親しむべき相手ではない。人として不適である。
六 四	外(ほか)これに比(ひ)す、貞吉(ていきち)。	内面(身近な者)との結びつきだけでなく、外部の人との良好な関係もまた、誠実さがあれば吉をもたらす。
九 五	比を頭(あき)らかにす。王用(も)って三驅(さんく)して前禽(ぜんきん)を失す。邑人(ゆうじん)誠(いまし)めず。吉	王の狩りのは三方向のみ囲み、来るもの拒まず、去る者追わず。王の領地の村人も警戒することはない。吉である。
上 六	これに比(ひ)する、首(しゅ)たることなし、凶。	結びつこうとするが、リーダーにふさわしいものがおらずよくない結果となる。

運 勢	周りの人と親睦を深めることで吉運を招く。 ただし、世話苦勞が多いため本業がおろそかになりがち。争者が多い場合は、迅速に事を運ぶこと
願 望	親交を厚く広くしていれば、紹介などによって願望叶う。 遅れた場合には成就せず。
恋愛・関係	速やかに親睦を深めると良い。お互いに吉。 しかし、他人も同じ行動をとることでライバルが増える恐れも。
結 婚	縁談に恵まれているがゆえに選択に迷うが、なるべく早く決めるべし。 ただし相手男性に異性関係が多いなど、世話苦勞が絶えないことあり。
性 格	人当たりが柔らかく、他人から信用されて好かれる人。 異性関係が多いこともある。
事業・方策	拡大・強化に踏み切るには運氣が足りていない。 敵と思う者を味方に取り込むなどして、内部の親しみを一層厚くすると良い。
住 居	特に問題はないが、陽当りに恵まれない。移転などにも支障なし。
相 場	低位置で安定しているものの、優良株であれば長期的方針で継続保持すると良い。 他に関連する株があれば連動する可能性あり。
旅 行	一人旅は良くないが、団体旅行など複数人数であれば吉。 ただし水辺には注意。
病 気	眼病、胃痛、食あたり、腹膜炎、胸部の痛み、慢性疲労など。 治療困難で長引く恐れあり。

9. ䷶ 風天小畜(ふうてんしょうちく)  
チャンスを待つ

キーワード：少し止まる、少し蓄える、前進できない、ちょっとした修練、学術、チャンスを待つ、好き嫌い、欲求不満、憂鬱、小さな忍耐、雲あれど雨降らず、準備段階、制御と自制、時機未到、内なる力の充実、文徳を磨く

天の上に風が吹いている象。五陽（男性）が進もうとするのを一陰（女性）が止めていて、力が弱いので少ししか止められない。その少しの時間に物が蓄えられる。畜は「蓄」の古字で「あつめる」「とどめる」の意味であり、序卦伝には人と人が親しむとあつまるので、比の次に置かれるという。ちょっとした故障を指すことが多い。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
38: 火沢睽	16: 雷地豫	10: 天沢履	57: 巽為風	37: 風火家人	61: 風沢中孚	01: 乾為天	26: 山天大畜	05: 水天需

卦 辞	小畜は亨る。蜜雲(みつうん)して雨ふらず、わが西郊(せいこう)よりす。	少しの望みは通る。雲が濃く湧いているが雨は降らない。西の郊外から降り出すだろう。
初 九	復(かえ)ること道よりす。何ぞそれ咎あらん、吉なり。	自分本来の正しい道に戻る。そこに何の悪いことがあるだろうか、吉である
九 二	牽(ひ)きて復(かえ)る。吉なり。	人に手を引かれて、本来の正しい道に帰るのが良い。
九 三	輿輻(くるまふく)を説く。夫妻目を反(そば)む。	車輪が外れるように、関係性が破綻する。夫婦や仲間内で争いあり。
六 四	孚あり。血(いたみ)去り惕(おそれ)出(い)ず。咎なし。	誠実さがあり、痛みや災いが去り、慎重な態度が現れる。過ちはない。
九 五	孚あり攣如(れんじょ)たり。富その鄰(となり)と以(とも)にす。	誠実であり、しっかりと結びついている。豊かさは、隣人との良好な関係によってもたらされる。
上 九	既に雨ふり既に処(お)る。徳を尚(たつ)んで載(み)つ。婦貞なれど厲(あやう)し。月望に幾(ちか)し。君子征(ゆ)けば凶。	雨も降り終えた。徳を尊ぶべし。女性は節操を守るが、状況が厳しい。今は満月に近いが動けば危機に陥る。








運 勢	思うように前に進めない時で、小さな障害に注意。足踏み状態。不満がたまるものの、一步一步進むことが大切。
願 望	少し支障があるが最終的には叶う。明確な進捗が得られないことが多い。当分は焦らずに待つことが重要。
恋愛・関係	時期尚早。意思疎通に障害あるため、思い通りに行かない。少し支障があるが待てばチャンスあり。
結 婚	縁談をまとめようとしても、なかなかまとまらない。お互いに合意があれば、少し待ったあとに成就する。
性 格	内面は剛健で外見は柔和。人の好き嫌いがあるために、周りと親和しにくい性格。
事業・方策	小規模の事業や改善などには良い。大きな事は成就しないため控えるべし。
住 居	移転には良いが、長く住む場合には不備あり。
相 場	上がり目はあるものの、ちょっとした支障で一服する様相。少し待てば上がる。
旅 行	ちょっとしたトラブルに注意すること。予定していたものが遅れたり、中止になったりすることがある。
病 気	気鬱、頭痛、ヒステリー、不食、肺結核、咳など。急変の心配はないが、治療は少し長引く。

10.

天沢履(てんたくり)  
人が常に履むべき道

キーワード：礼儀、控えめ、柔順、実力ある者に従う、目上からの寵愛、虎の尾を踏む、弱者は強者の後ろ、扱いにくい野生の人々、慎重に歩く、注意深い前進、慎重な前進、注意を払って進む、弱者が強者に立ち向かう

剛健の乾のあとについて行けば危機を免れ、喜ばせる兌の態度があれば可愛がられる。天沢履は目上から引き立てがあつてかばれる卦なので、下の者は礼儀を守ってついて行けば支障ありません。序卦伝では履は「礼」とできるとし、物があつまると礼ができるため、小畜の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
37: 風火家人	15: 地山謙	09: 風天小畜	06: 天水訟	25: 天雷无妄	01: 乾为天	61: 風沢中孚	38: 火沢睽	58: 兌為沢

卦 辞	虎の尾を履(ふ)む、人を啗(くら)わず。亨(とお)る。	虎の尾を踏んでも噛まれることはない。望みは通る。
初 九	素履(そり)す。往くも咎(とが)なし。	素足で歩むように飾らず正直に歩みを進める。進んでも過ちはない。
九 二	道を履むこと坦々たり。幽人貞にして吉なり。	平坦で順調な道のりがあり、隠者のように謙虚で正しい行動を続ければ良い結果が得られる、
六 三	眇(すがめ)にして視(み)、跛(あしなえ)にして履(ふ)む。虎の尾を履(ふ)む。人を啗(くら)う。凶。武人大君(たいいくん)となる。	目が不自由なのに見えると言い、足が不自由なのに歩けると言うような身の程知らずは、虎の尾を踏んで喰らわれてしまう。凶である。武勇一遍の武人が大君となるのはそのように危険なことである。
九 四	虎の尾を履む。愬々たれば終には吉なり。	虎の尾を踏むが、慎重に行動して最後には吉となる。
九 五	夬(さだ)めて履(ふ)む。貞(てい)なれども厲(あやう)し。	決断して行動することは、正しくあっても危険を伴う。
上 九	履むを視(み)て祥(しょう)を考う。それ旋(めぐ)るときは元吉(げんきつ)なり。	自分の行いを省み、善悪正邪を反省する。正しいことはそれを守り、間違いを改善すれば大いに吉である。









運 勢	何をするときも謙虚な態度を取るべき時。特に目上の人物には柔順に従うべし。思わぬ危険やハプニングが発生しやすい時だが、実際の被害は小さい。
願 望	自信過剰で推し進めると叶わず。目上の人物の指導やアドバイスに従えば叶う。
恋愛・関係	玉の輿に乗るような縁談。少し不釣り合いだが幸せはある。初めての縁組は成立しにくい。再縁であれば調う。色情問題に注意すること。
結 婚	進展しにくい。結婚してもしばらく困難あり。辛抱の後に成立する。関係が始まったばかりで未熟だが、誠実に進めば育まれる。
性 格	柔和で礼儀正しく、ものの言い方が爽やかな性格。人に可愛がられる才能あり。
事業・方策	分相応は範囲で前進すること。大望や冒険心に基づいた行動は大損となる。
住 居	新築は不可。増改築は小さな規模なら良い。工事は実力のある業者に任せるべし。
相 場	入念な準備と計画が必要。旅行の実力者のあとをついて行く方が良い。一人旅行は旅先でハプニングに見舞われる可能性がある。
旅 行	旅行先でトラブルが起きやすい。可能なら機を改める方が良い。
病 気	精神病、口内の疾患、胸部疾患、心臓病、咽喉、胃腸の疾患、性病など。急激に症状が現れることが多く、急変にも注意。最善の治療法を期するべし。



# 11. 地天泰(ちてんたい) 今こそ進むとき

キーワード：安泰、安定、現状維持、和合、親和、調和、内剛健・外柔順、男女の睦まじい仲、協調、怠慢、油断。

履むことで安定を得るため履の次に置かれる。乾（天）の気が下から上昇し、坤（地）の気が上から下降していくことで、天地の気が交わる。内は剛、外は柔で和合して安泰となる。人間関係で言うなら、君臣上下の意志が通じ合い、君臣一体、上下一体の円滑な状態で、国家安泰な時を示す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
54: 雷沢帰妹	12: 天地否	12: 天地否	46: 地風升	36: 地火明夷	19: 地沢臨	34: 雷天大壮	05: 水天需	26: 山天大畜

卦 辞	小往き大来たる。吉にして亨る。	下にいるべき小(地)が上に、上にあるべき大(天)が下にきたことで二気が交わり調和する。何事も吉あり通る
初 九	茅(ちがや)を抜くに茹(じょ)たり、その彙(たぐい)と以(とも)にす。往くも吉なり。	根が繋がった草を抜けば、あたりの草が全て抜けるように志を同じくする仲間と行動をとみにすれば吉である。
九 二	荒(こう)を包(か)ね、馮河(ひょうが)を用い、遯(と)おきを遺(わす)れず、朋亡(ほう)ぶなれば。中行(ちゅうこう)に尚(かな)うを得ん。	荒民をも包容し、危険を冒して川を渡るような非常な手段を用いる。遠くまで見落とさずに注意しても仲間が減びる時もある。それでも中道を守り、吉を得るだろう
九 三	平(たいら)かにして蔽(かたむ)かずということはなく、往きて復らずということなし。艱貞(かんてい)なれば咎なし。恤(うれ)うるなかれ、それ孚なり。食に于(おい)て福(さいわ)いあり。	ずっと平らなままで傾かないものはなく、行ったまま帰って来ないものもない。困難のなかにあっても正道を守っていれば咎めはない。心配せずとも、それが真実である。暮らしが安定し幸運がある。
六 四	翩々(へんべん)として富まず、その鄰(となり)と以(とも)にす。戒めずして以て孚あり。	軽やかに身を処し、富を独占せず、隣人と分かち合う。相手を戒めたりせずとも、誠意が通じ合っている。
六 五	帝乙(ていいつ)妹(いもと)を歸(とつ)がしむ。祉(さいわ)いを以てす元吉(げんきつ)。	天子が末娘を嫁がせる。幸いであり、大吉である。結びつきや婚姻によって、幸福がもたらされる。
上 六	城隍(ほうり)に復(かえ)る。師(いくさ)を用うるなかれ。邑(ゆ)より命(めい)を告ぐ。貞(てい)なれども吝(りん)。	城は崩れて堀に還る。武力を使って挽回しようとしてはいけない。何も命令しない君主を見かねて、領地の村が逆に命令をしてくるようになる。これは正道を守る行為とはいえ、君主としては恥ずかしいことである。










運 勢	何事も安泰な時だが、油断や怠慢は禁物。現状維持に努めることを怠ると、運氣が衰えることも。過信して野心のままに猛進すると挫折に繋がるため注意
願 望	周囲と協力して正攻法で取り組みば叶う。身の丈に合わない願望は失敗のもと。
恋愛・関係	お互いの愛情が交じり合い、仲睦まじく安泰。心身ともに釣り合った関係。時が経つと倦怠感が起きやすくなるため注意すること。親しき仲にも礼儀あり
結 婚	相性が良く、夫婦となっても関係安泰。平凡ではあるが、大きな支障なく一家繁栄する様相。ただし、倦怠期の発生には気を付けるべし。
性 格	落ち着いていて動じない性格。心身共に健全。常識的で生活も安定している。周囲とよく馴染み、良好な関係に恵まれる。あるいは没個性的。保守的で安全主義。
事業・方策	可も不可もない。安泰ではあるが活気があるわけでもない。ただし、冒険的な取り組みは慎むこと。現状維持が吉。
住 居	当面の不満はないが、長くは続かない。新築や増改築はしない方が良い。
相 場	安定した状態が続いていればのちに上昇する見込みあり。高値で留まっていた場合はこれから下落する兆し。油断は禁物。
旅 行	平凡ではあるが何事もなく楽しい旅。吉。
病 気	肺の疾患、胃腸の疾患、腹部の張り、身体の倦怠。病気の初期段階であることが多い。外見では気付きづらく、内部に病気の原因がある可能性あり。

## 12. 天地否 (てんちひ)

### 今こそ進むとき

キーワード：否塞、乱世、不和、失敗、落ちぶれ、仲間割れ、停滞、相互不信、行き詰まり、不調和、閉塞、分離。

乾の気が上昇し、坤の気は下降していき、天地の気が交わらない。外見は剛健ですが、内心は弱く、処世の道は否塞している。無理をしても苦労があるばかりで、何事もうまくいかない。序卦伝には物は通じるばかりでなく塞がるので泰の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
53: 風山漸	11: 地天泰	11: 地天泰	25: 天雷无妄	06: 天水訟	33: 天山遯	20: 風地觀	35: 火地晋	45: 沢地萃

卦 辞	否の人にあらざる、君子の貞に利あらず。大往き小来たる。	周囲に真に信頼できる人や協力者がいないため、物事が閉ざされて進まない。 君子が正道を守っても、何も利は得られない。 重要なものが去っていき、わずかなものだけが戻る。
初 六	茅(ちがや)を抜くに茹(じょ)たり、その臲(たぐい)と以(とも)にす。貞なるときは吉にして亨る。	茅を抜こうとすると根が繋がっており、その同類である陰三爻すべて一緒に抜ける。まだそれほど悪くはないため、心を入れ替えて正道を守れば吉となり望み叶う。
六 二	包承(ほうしょう)す。小人は吉。大人(たいじん)は否にして亨る。	小さな者の現状維持や受け入れには吉だが、君子の理想的な振る舞いには適さない。
六 三	包羞(ほうしゅう)す。	恥ずべき事態を招く。外部には恥をさらさず、内心にとどめ、苦しいことや失敗を受け入れて、周囲の批判や不名誉を包み込む。
九 四	命ありて咎なし。疇(たぐい)祉(さいわい)に離(つ)く。	定められた運命があり、それに従えば過ちはない。状況の変化や別離は必ずしも悪いことではなく、新たな良い展開をもたらす可能性がある。
九 五	否を止む。大人吉なり。それ亡(ほろ)びなんそれ亡びなんといいて、苞桑(ほうそう)に繋(かか)れり。	否(閉塞)が休止する。君子(大人)にとっては吉である。「これはもう減びる、減びる」と人々は言うが、実際にはまだ桑の若芽のように繋がる希望がある。
上 九	否を傾く。先には否(ふさが)り後には喜ぶ。	否塞が傾き覆される。初めは運が塞がっていても、最後には喜びがある。

運 勢	運気が衰退し、塞がっている。何をしても形にならない。現状維持に注力しつつ、チャンスをじっと待つ姿勢が大切。初めのうちは苦しいが、耐えれば上昇の兆しが見える。
願 望	望みへの道が塞がっており、叶わない。心を改めれば後に適う。願望を叶えることより、現状を守ることを優先すべし。
恋愛・関係	現在相手がいる場合は離別の兆しあり。対話が不足しているため相互理解が不足しており、愛情が生まれない。相手がいない場合は当分は異性に恵まれないが、将来的に希望あり。
結 婚	縁談が得られない。縁談があってもあと一步でまとまらない。結婚している場合は、あらゆることに恵まれないため、家庭内の平和は得られず。
性 格	内心は気が小さくて臆病。短気なところあり。無口で人と交際するのが下手。気がふさがちで、楽しみが少ない人。
事業・方策	出費の割に収入が少ない。この時期の努力は実りづらい。環境や成り行きが変わる時を待つのが良い。
住 居	陽当たりが悪く、衛生状態も良くない。運気の発展が見込めない家。新築や増改築するなら延期すべし。
相 場	動きがない時。現在が高値であれば下落し、低ければ将来的に上昇する兆し。
旅 行	可能であればキャンセルの方が良い。旅行先で大きなトラブルに見舞われやすい時。
病 気	脳の疾患、憂鬱、咽喉閉塞、喉頭がん、声帯の疾患、肺結核、血行不順、血塊、過労など。精神的な安定が得られず、気力が向上かない。病勢は次第に悪化していく。



# 13. 天火同人(てんかどうじん) 人と志を同じくする

キーワード：同じ志、協力一致、公共、コミュニティ、グループ、交際、志を同じくする人々、仲間意識、サークル活動、団体行動

内卦の離の火の気が上昇していき、外卦の乾の天と和同し、天空と太陽がその志を一つにして外界を照らしている象。単独で行うより、誰かと協力して行う方が良く、協同一致の意味となる卦。序卦伝には物は塞がるばかりではないので否の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
44: 天風姤	07: 地水師	14: 火天大有	33: 天山遯	01: 乾為天	25: 天雷无妄	37: 風火家人	30: 離為火	49: 沢火革










卦 辞	人に同じうにするに野(や)に于(おい)てす。亨る。大川を涉(わた)るに利あり。君子の貞に利あり。	仲間が公の場で一致団結すれば物事がうまくいく。大きな川を渡っても良い。君子が正しい道を守ること利益あり。
初 九	人に同じうするに門に于(おい)てす。咎なし。	門(身近なところ)で同じ志を持つ者と結びつく。過ちがなく良い。
六 二	人に同じうするに宗(そう)に于(おい)てす。吝(りん)なり。	同じ志を持つ者が宗族に集まるが、不都合がある。(身近すぎる集団では軋轢や不都合が起きやすい)
九 三	戒(つわもの)を葬(もう)に伏し、その高陵(こうりょう)に升(のぼ)る。三歳まで興(おこ)さず。	軍隊を草むらの中に置き、高い丘に登って形勢を見る。しかし三年経っても兵を起こさない。(慎重さ、敵の強さ)
九 四	その墉(よう)に乗る。攻むる克(あた)わず。吉なり。	敵の城壁に登ったものの、決定的な攻撃ができずにいる。完全に攻めきれないことがあって良い結果になる。
九 五	人に同じうするに先には号(さけ)び咷(よば)いて後には笑(わら)う。大師(だいいし)克(か)ちて相い遇(あ)う。	人と調和するにあたり、最初は悲しみや嘆きがあるが、やがて喜びの笑いが訪れる。強い指導者が困難を克服して良い出会いを果たす。
上 九	人に同じうするに郊(こう)に于(おい)てす。悔いなし。	同じ志をもつ人々が郊外(田舎や郊外の開けた場所)に集う。後悔しない。

運 勢	私的なことより公的なことを優先すると良い。社会情勢や時流に適應すると吉を得る。協力者が多いゆえに、良く思われないことあり。人間関係でのトラブルには注意。女性問題も起きやすい時。
願 望	同志と協力すれば大願成就。ただし、勢いに乗りすぎた時には上手く抑制すること。私利私欲は禁物。
恋愛・関係	地位や力量のある人と結ばれるが、ライバルが多く、争いごとが発生しやすい時。趣味、好み、考え方が一致して親密度が高い。
結 婚	玉の輿の運氣あり。同業者など同類を相手にするのが最も良い。他の場合でも吉。周囲からも広く祝福され、誰からも羨まれるような縁。婚後は仕事を優先して家庭を省みない可能性も。
性 格	誰にも分け隔てなく接し、交際が上手い。内に才知あり、学識教養のある人。異性運が豊かであるため、浮気がち。公平さ・公正さがない人物であれば、腹黒く邪悪な性格。
事業・方策	同業・同類と繋がりを作って事業を進めると吉。大いに発展するが、勢いに任せて進みすぎないこと。
住 居	陽当たり良く、多くの人が集まるような良い家。新築や増改築は目上の意見を参考にすべし。
相 場	好材料が多く上昇していく勢い。ただし、社会情勢や天変地異に大きく左右されるため油断しないこと。
旅 行	団体旅行など複数人数なら吉。一人旅は避けるべし。単独行動はトラブルを招く。
病 気	脳病、精神病、眼病、胸部の苦しみ、肺病、腰部の疾患、不眠症、大熱、流行性のもの、伝染性のもの。重病は凶の兆し。

14. 火天大有(かてんたいゆう)  
知を以て大いに所有する

キーワード：大きなものを保有する、大いに保有する、大望、名声、豊かさ、富、盛大、豊富

離の火が、乾の天より上にある卦。太陽が天高く万物を照らしている様子を表す。火も天も手に掴むことはできないもの。空想的な理想論を示すこともあり、実在に適さない大きな事も多いため注意が必要。離の文明と乾の剛健さをあわせもつ徳を用いて、しっかりと内容を固めることが重要。人と協同すれば物はそこに帰属するので同人の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
43: 沢天夬	08: 水地比	13 天火同人	50: 火風鼎	30: 離為火	38: 火沢睽	26: 山天大畜	01: 乾為天	34: 雷天大壮

卦 辞	大有は、元(おお)いに亨る。	物質的にも精神的にも豊かで、 (その豊かさが正しく用いられて)物事が順調に進む
初 九	害に交(わた)ることなし。咎あるにあらず。 艱(なや)むときは咎なし。	害をもたらず交流をしない。これは過ちではない。 困難があっても正しい姿勢を保てば咎められることはない。
九 二	大車(だいしゃ)以て載(の)す。往くところあり、咎なし。	大きな車に荷を載せるように、充実した力量がある。車が頑丈であるためどこへ行ってもつぶれる心配はなく、咎めはない。
九 三	公用(もつ)て天子に亨(きょう)す。小人は克(あた)わず。	公明な者はその立場を正しく使い、君主と志を通わせられるが、私欲に走る者は、それを成し遂げることはできない。
九 四	その彭(さかん)なるにあらず。咎なし。	自分の(実力以上の)大きさを誇らない。 そうすれば咎はない。
六 五	その孚(まこと)あつて交如(こうじょ)たり。 威如(いじょ)たるときは、吉なり。	誠意をもって人々と交わり、威厳を備えていれば、吉である。 (誠意だけでは流されるし、威厳だけでも孤立する。 両方を備えることで豊かさが安定する。)
上 九	天よりこれを祐(たす)く。吉にして利あらざるなし。	上九は人為の及ばない領域で、人が徳を極めて天意と一致したときに、天の助けによってすべてが順調に運ぶ。

運 勢	運気上昇につき恵まれている時。 力量ある人には吉だが、常人には荷が重いことも。背伸びをせずにしっかりと中身を充実させること。
願 望	達成の時期は早い。 内容が大きすぎるところがある。多くを望みすぎずに、時流に従うべし。
恋愛・関係	異性との交際に恵まれるが、多角関係になりがち。トラブルが起きやすい。節度を守って付き合うか、徹底して秘密裏に交際すること。相手は自分が欲しいと思うものを持ち合わせている人物。
結 婚	互いに知恵あれば大いに恵まれるが、そうでなければ荷が重い。女女性目は目下、男性は目上の相手を選ぶと良い。女性優位の家庭。女性は家庭外に生きがいを感じる傾向にあるため、それが原因で家庭内不和を招く恐れあり。
性 格	内には剛健、外には才知あり、大まかで豪快な性格。 大望を空想する傾向がある。名声・名誉・社会的地位を持つ人物が多い。
事業・方策	幸運に恵まれており順風満帆。現在の流れを維持する努力が必要。力の及ばないことから早めに手を引き、分相応の分野に改める方が良い。これ以上の拡大・拡張は控えると無事。
住 居	陽当たりがよく、安らぎを感じられる家。 新築の場合は予算超過に注意。移転は控えるべし。
相 場	取引活発で、騰勢の時。 ただし、大きな変動がある恐れがあるため、機を見て売り逃げる方が良い。
旅 行	豪勢になりがち。 緊縮・節約の姿勢を忘れないこと。
病 気	大熱を伴う病気、ノイローゼ、体力消耗、肺病、腹部の膨張など。 他の病気と併発する恐れあり。薬が効きづらく持病化すること。病勢は激しくなるため気を付けること。

# 15. 地山謙(ちざんけん) つつましく生きる

キーワード：謙虚、謙遜、へりくだる、謙讓、謙遜の態度、謙虚な態度、謙遜の心、控え目、謙る

本来ならば地を見下ろして高さを誇っている艮(山)が坤(地)より下にある。驕らず、無理に卑下もせず謙虚な美德によって多くの人から信用を集める。序卦伝には、大いに有する者は満ちて奢るようではいけない。ゆえにこれを受けるに謙をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
40: 雷水解	10: 天沢履	16: 雷地豫	36: 地火明夷	46: 地風升	02: 坤為地	62: 雷山小過	39: 水山蹇	52: 艮為山










卦 辞	謙は亨(とお)る。君子は終わりあり。	謙虚であれば、万事順調に通じる。謙遜の道を成し遂げられる者はその終わりを全うできる。
初 六	謙々たる君子。用(もつ)て大川(たいせん)を涉(わた)る、吉なり。	謙遜に謙遜を重ねる君子のであれば大川も渡る危険を冒しても乗り切れるため吉。
六 二	鳴謙(めいけん)す。貞にして吉なり。	(陰爻陰位で中に徳があるため)謙遜さによる名声は自然とどろく。正道を守っていて吉である。
九 三	勞謙(ろうけん)たる君子。終わりあり吉。	努力して謙虚さを保つ。君子は最後まで謙虚さと正しさを貫けば、吉となる。
六 四	利あらざるなし、謙を撝(ふる)え。	何事も不利なく順調である。謙虚さを慎み深く用いよ。
六 五	富まず、その鄰(となり)と以(とも)にす。用て侵伐(しんぱつ)するに利あり。利あらざるなし。	自分の富を誇らず、隣人と分かち合う。必要な時には強硬な措置を起こしても有益であり、すべて順調である。
上 六	鳴謙(めいけん)す。用て師(いくさ)を行(や)り、邑国(ゆうこく)を征するに利あり。	謙虚さを自然に示すことで、人々の信頼を得る。必要に応じて軍や組織を動かし、地域や国を正しく治めることは吉。

運 勢	苦勞が多いが耐え忍ぶことで信用が倍増する時。私利私欲を抑えて他人から信用されるような働きをすることで、次第に運氣も上昇していく。地道な姿勢でチャンスを待つと良い。普段から恵まれている人にとっては停滞。
願 望	何事にも慎ましく控えめにすれば叶う。辛抱することで最終的に利を得る。人を凌ぐことは不可。
恋愛・関係	目立った進展はない。これまで不仲だった関係であればわだかまりは解ける。男性にとっては女難の恐れ。
結 婚	意思表示が伝わりづらく、進展が遅い。急いでも縁談はまとまらない。着実に進めること。婚後当分は我慢が必要な生活となるが、先は明るい。初縁の人は少し不満・不足に思うことあり。
性 格	内は篤実、外は柔和であり、謙虚な性格。積極性には乏しく、社交下手。縁の下の方持ちのような人で、外に向かうよりは内を守る方が適している。先に苦勞するが、後々伸びる。t
事業・方策	苦勞があっても堅実なものを選ぶべし。新規事業には向かない時。人のために尽くす姿勢を忘れないこと。
住 居	現状を受け入れて耐え忍ぶこと。移転はトラブルのもと。
相 場	これまで高値にあったものは下降し安定することが多い。逆にしばらく動いていないものはやがて上昇する兆しあり。
旅 行	近場であれば無事。遠方の旅行や豪勢な旅行は不可。
病 気	胃腸の腫瘍、中毒、泌尿器科系、腰痛、下痢、経水不順、鬱など。急変はしないが、症状が停滞し持病となる。重病の場合は凶。

16. 雷地豫(らいちよ) 積極的に進む

キーワード：悦楽、娯楽、喜び、楽しみ、調和、熱意、安息、満足感、自信、怠り、自己欺瞞、不節制、予め備える、予備

地の下の雷が地上に出て、志を遂げることを表す。春陽の気が地上に出て悦び楽しむように、思い通りで楽しくなる卦。同時に不用意になりがちで最後に痛い目を見てしまうこともあり。すべき事を怠らないように注意。大いに有し、謙遜する者は、必ず悦びを得る。ゆえにこれを受けるに豫をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
39: 水山蹇	09: 風天小畜	15: 地山謙	51: 震為雷	40: 雷水解	62: 雷山小過	02: 坤為地	45: 沢地萃	35: 火地晋










卦 辞	侯(きみ)を建て師(いくさ)を行(や)るに利あり。	指導者を立てて、 軍や組織を適切に行動させることは吉である。
初 六	鳴(めい)豫す。凶なり。	喜んで先に行動することは凶である。 (軽率に動く災いがある。)
六 二	石に介たり。日に終えず。貞(てい)にして吉なり。	陰爻陰位で中正を守っており、困難に挟まれるような時も石のようにしっかり身を守っている。正道を守っているため吉。
六 三	盱(く)豫す。悔ゆ。遅ければ悔いあり。	ためらいは悔いを生む。 行動が遅れると、なお悔やむことになる。
九 四	由(ゆう)豫す。大いに得るあり。 疑うなかれ、朋(とも) 盍簪(あひあつま)る。	楽しみに従えば、大きな利益を得ることができる。 迷わず進め。友人や仲間と共に喜びを分かち合おう。
六 五	貞(てい)にして疾(や)む。恒(つね)に死せず。	君位にあつて剛強の臣下である九四に制せられている。 重病人に等しいが正道を守っているため最終的には無事である
上 六	冥(めい)豫す。成るも渝(かわ)ることあり。咎(とが)なし。	目的は達成できるが、慎重さと余裕・楽しみを同時に持っているので途中で多少の変化があっても問題はない。

運 勢	新しい目標に向かって活発になる時。これまで塞がってきた運気が開かれ、充実してくる。また、自分の境遇に変化が訪れる時でもある。楽しさゆえに、やるべきことを怠りがちになるため、辛抱強さを忘れないようにすること。
願 望	急ぐと失敗する。何事も控えめにすれば叶う。辛抱と用心を心掛けると良い。 新しいことは発展するが、これまで勢いがあったものは後退しがち。
恋愛・関係	滞りが解消されて互いに悦び楽しむ仲に。悦楽を優先させて生活のリズムが乱れがちになる。 とにかく楽しい時だが、多角関係によるトラブルには注意。
結 婚	順調に進めば縁談まとり、調和して悦びを得る。ただし気を付けないと、婚後に家庭内のことが疎かになり 落ち着きは得られない。家庭を持ったときを想定して相手を見極めること。
性 格	内はおだやか、外は行動的。遊び好き、怠け癖あり。
事業・方策	発展策を大いに講じると良い。宣伝や広告など、PR 活動を積極的に行うと良い。 好調を理由に油断すると不振のもと。
住 居	外見は良いが中身は良くない。チャンスがあれば移転は可。
相 場	上昇する勢いのままに大いに動く時。ただし油断していると元に戻るため、楽観しないこと。
旅 行	楽しい旅行になるが、遊びすぎに注意。
病 気	胃がん、食道がん、内出血など。急変しやすいが回復も早い。

## 17. ䷐ 沢雷随 (たくらいずい) 自分の心に従う

キーワード：悦んで従う、服従、執着、フォロー、フォロワー、順応、一致、把握する、作業適合、調整、先人を見習う、転機

随は動きがあることを示している。民が悦べば、皆従うことになる。ゆえにこれを受けるに随をもって表す。雷が沢の中で動けば、沢の水はさざ波となって共に動いて悦ぶ。随は雷の陽気が沢の陰気に従うため、自我を強めずに勢いを収めていれば無事である。性急短慮は悔いのもと。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
53: 風山漸	18: 山風蠱	18: 山風蠱	45: 沢地萃	58: 兌為沢	49: 沢火革	03: 水雷屯	51: 震為雷	25: 天雷无妄

卦 辞	随は、元いに亨る貞しきに利あり。咎なし。	従順に進めば、万事うまくいく。正しい態度を守ることによって利益があり、過失はない。
初 九	官渝(かわ)ることあり。貞(てい)なれば吉。門を出でて交わるに功あり。	これまでの役目が変わることがある。正道を守れば吉。テリトリーから出て外に出て交われれば成果をあげられる。
六 二	小子(しょうし)係りて、丈夫(じょうふ)を失う。	未熟な者に頼ると、真の力ある者を失ってしまう。
六 三	丈夫(じょうふ)に係りて、小子(しょうし)を失う。随って求むるあれば得。貞に居(お)るに利あり。	有能な者を重んじれば、未熟な者には頼らなくなる。流れに従えば望むものを得ることができ、正しい態度を守れば吉となる。
九 四	随って獲(う)るあり。貞(てい)なれども凶。孚(まこと)あつて道に在り、以て明らかなれば、何の咎(とが)あらん。	流れに従えば一時的な成果は得られるが、正道を貫くには困難がある。誠実で道に沿った行動を取れば、最終的に咎はない。短期的な成果と長期的な正道のバランスがテーマ。
九 五	嘉(か)に孚(まこと)あり。吉なり。	内面の誠実さと地位の正しさが相まって、吉運を生む立場が正しいことが、誠実さの効果を最大化する
上 六	これを拘(とら)え係(く)る。乃(すなわ)ち従ってこれを維(つな)ぐ。王用(もつ)て西山(せいざん)に亨(きよう)す。	最上位にあれば権力や責任が重く、無理に押さえつけるような状況になる。この極限状態を認識しつつ、誠実さと正道に従って重要な事柄を取り扱う。

運 勢	運氣が変わる時。時流や事態に従うと吉。自分のことにこだわるのは止めること。
願 望	時間を掛ければ叶う。新しい願いは叶わないので、むやみに手を出さないこと。
恋愛・関係	相手の甘い言葉や誘惑に言いなりになりやすい。惑わされないためには堅実な精神を心掛けると良い。
結 婚	初めは、相手の答えをもらえないが時間を掛けて求めれば成立する。ただし、相手の異性交遊の状況に注意。トラブルのもととなる。
性 格	行動的で愛嬌がある。私利私欲に従って動く人。異性関係が多く、問題を起こしやすい。
事業・方策	事情があつて移転することは良い。特別な事情がなければあまり動かない方が良い。
住 居	陽当たり良く、多くの人が集まるような良い家。新築や増改築は目上の意見を参考にすべし。
相 場	しばらくは低迷気味。ただし、内にエネルギーがあつて上昇する兆しあり。
旅 行	旅先での誘惑に注意。楽しい旅行だからと言ってはしゃぎすぎてはいけない。
病 気	精力減退、性病、消化不良、嘔吐など。症状は軽いため治療を怠りがち。早めに処置するのが良い。



## 18. 山風蠱(さんぷうこ) 腐敗を正す

キーワード：腐敗、崩壊、不正、共倒れ、内部改革、失敗を子供が処理する、先代の失敗、虫食い、悩み、壊乱、障がい排除する、腐り始めが一番おいしい、魅力をもって惑わす、腐敗は内部から、腐敗物の処理、新しいものをいれる、速やかな処理、取り返しのつかないこともやり直すことはできる

蠱の字が表すのは皿の上に虫三匹。皿の上の食物が腐って虫が湧いている形。風が山によって遮られて、物が腐ってしまう。蠱には「壊れたら直す」という意味もあり、最後の最後には立ち直すことも表しています。悦んで人に従っていればそのうち調子に乗ってしまい、崩壊に至る。崩壊した後は必ず事を起こさなければいけない。ゆえにこれを受けるに蠱をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
54: 雷沢帰妹	17: 沢雷随	17: 沢雷随	26: 山天大畜	52: 艮為山	04: 山水蒙	50: 火風鼎	57: 巽為風	46: 地風升









卦 辞	蠱は、元いに亨る。大川を渉(わた)るに利あり。甲に先だつこと三日、甲に後るること三日。	蠱(老いや腐敗、問題)には、根本的な改善のチャンスがある。困難を乗り越えるには大きな行動が必要である。準備期間として「先に三日、後に三日」を置くとよい。
初 六	父の蠱(こ)を干(おか)す。子有り。考ふれど咎なし。厲(あやう)しも終(つい)に吉。	腐敗・古い障害に取り組む。子孫の助けがあり、よく考えれば過失はない。困難や危険があっても、最終的には吉となる。
九 二	母の蠱(こと)に幹(かん)たり。貞(てい)にすべからず。	母(過去・家庭・旧来の因習など)の腐敗や問題に手を出すことは、正道を守っても吉ではない。無理に取り除こうとすると失敗する。
九 三	父の蠱(こと)に幹(かん)たり。小(すこ)しく悔いあり、大なる咎なし。	父(過去や先代)の問題に取り組む。多少の悔いはあるかもしれないが、大きな過失や災いはない。
六 四	父の蠱(こと)を裕(ゆる)うす。往くときは吝(りん)を見る。	父(過去・先代の問題)を改善しようとして努力するが、実際に行動すると不利益や損失が生じる。(軽率に手を出すと困難に直面することを示す。)
六 五	父の蠱(こと)に幹(かん)たり、用(もつ)て誉あり。	父が壊してしまったものを取り仕切る。応爻の九二が継承してくれるため、立派な後ろ盾がある。結果として名声が高まることは当然である。
上 九	王侯に事(つか)えず、その事を高尚にす。	権力者や地位に従わず、自分の生き方を高潔にする。

運 勢	内部に問題を抱えている。特に醜い争いごとなどがある時。内部の改革や、新しい風を呼び込むことが必要。
願 望	叶うことなし。新しいことを進めるより、内部改革に着手すべし。チャンスが来るまで待つのが良い。
恋愛・関係	多角関係によりトラブルが発生する時。和合することなし。年上の女が年少の男を誘うことが多い。
結 婚	凶。特に年上の女性に警戒すべし。相手に隠し事がある恐れあり。縁談は取り止めるのが良い。
性 格	他人に言えない隠し事があり、内心に迷いがある人。色欲に溺れやすい。
事業・方策	新しいことは不可。内部の問題を解決することが先。
住 居	内部に問題あり。改築すると良い。移転も吉。
相 場	内部に悪い材料が潜んでいる。手を出さずに静観するのが良い。
旅 行	旅先で体や心にダメージを受けることあり。取り止めるのが良い。
病 気	遺伝的な病気、便秘、腫瘍など。病気が根深く完治は難しい。病勢は激しくなる。

# 19. 地沢臨(ちたくりん) 幸運が近づく

キーワード：臨み見る、相互、希望、欲求、願望、悦んで従う、アプローチ、春が近づく、接近、接触前進と到着、大きくなる、二人と一緒に前進する、近づく

沢の上に地があり、低い場所にある沢を高い地上が見下ろして臨んでいることを表す。こちらから対象の方へ進んでいって、威圧的に迫っていくという意味。陽が下から進んでいくことで、良好な将来があるということも示唆する。蠱は事のことである。崩壊が起こり、事を起こした後には、成長し大きくなる。ゆえにこれを受けるに臨をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
24: 地雷復	33: 天山遯	20: 風地觀	07: 地水師	24: 地雷復	11: 地天泰	54: 雷沢帰妹	60: 水沢節	41: 山沢損

卦 辞	臨は、元いに享る貞しきに利あり。八月に至りて凶あり。	物事が順調に進み、大きな吉運に恵まれる。正しい態度や正道を守ることが有利である。時期や状況によっては凶となる場合がある(八月＝慎重を要する時期の象徴として)。
初 九	咸(かん)じて臨む。貞にして吉なり。	感動させることによってすべてのものが自分のもとに集まる。正道を守っている上に吉である。
九 二	咸(かん)じて臨む。吉にして利あらざるなし。	感動させることによってすべてのものが自分のもとに集まる。全てにおいて良い結果が得られる。
六 三	甘んじて臨む。利するところなし。既にこれを憂うれば、咎なし。	自分の意志で進んで臨むが、利益は得られない。慎重に対処すれば、咎められることはない
六 四	至りて臨む。咎なし。	最も適切な時期・立場で臨む。咎められることはなく安全である。
六 五	知あつて臨む。大君の宜(ぎ)なり。	自分は動かずに実力ある臣下(九二)に任せる。これが智慧のある臨み方であり、大君の取るべき態度である。
上 六	臨むに敦(あつ)し。吉にして咎(とが)なし。	上六は卦の最上に位置し、実務の現場からはやや離れた位置。直接動くよりも、誠意と厚徳をもって下を包み込むように臨む。上からの臨み方が温厚で、厳しさよりも慈しみを伴っているため、下の者は反発せず、吉となる。









運 勢	運気が高まっており、何事にも活気がある時。勢いに乗りすぎてやりすぎにならないよう注意し、柔軟・柔和に対応すること。
願 望	運気上昇の時で望みごとは次第に叶う。ただし、大きなことや急なことは成就しない。将来のことを見据えながら、事に当たると良い。
恋愛・関係	互いに和合して順調。これまで春が到来しなかった人にも悦びあり。自ら進んでいく積極性が大切だが、急すぎるアプローチは慎むこと。
結 婚	進んで求めると良い。相手の態度があいまいではあるが、積極的に進めると結ばれる。急いで縁談を取りまとめると破綻するので、性急にならないように注意。
性 格	柔和でおとなしい。人と親しみ愛される。向上心あって、活動的な人でもある。
事業・方策	新規事業が発展する兆しあり。これまで不振だった事業も盛況となる可能性。柔和な手段をとって順調に事を進めること。例えば高級志向よりは大衆受けするものが良い。
住 居	居心地が良い。新築・移転に支障はないが、急に決めることは控えるべし。
相 場	上昇機運あり。ただし、急いで手を出すと失敗することもあるので、落ち着いて見極めると良い。
旅 行	楽しい旅行となる。旅先の交通事故には注意。
病 気	消化不良、嘔吐、便秘、肺の疾患など。これまで病状が悪かった人は良くなる。ただし、病勢が高まって悪化している人はさらに進行が早くなる。



## 20. 風地観(ふうちかん) 自分の心と向き合う

キーワード：観察、静観、教育、信仰、学術・  
芸術の発展、熟考、見る、立ち向かう、内省

上の二陽は下を見ており、下の四陰は上を伺い見、互いに観察し合い、自分の行動をどうするか考えている。観の卦は陰が下から進んできて衰退の時でもある。「どちらを選ぶか」と迷いが生じますが、欲を取り除いた上で良く考えて決めること。臨は大きなものである。物事が十分に大きく、整ったときにこそ、観察(観卦のように)して方向を定めるべき。

互卦	裏卦	綜卦	初爻変	二爻変	三爻変	四爻変	五爻変	上爻変
								
23: 山地剥	34: 雷天大壮	19: 地沢臨	42: 風雷益	59: 風水渙	53: 風山漸	12: 天地否	23: 山地剥	08: 水地比

卦 辞		
初 六	童(どう)観す。小人は咎なし。君子は吝(りん)。	丁寧 hands を洗って、軽々しく供物を捧げない。心に誠があり、その姿は敬虔で厳粛。
六 二	闕(き)観す。女貞(じょてい)に利あり。	子供のように浅はかな見方しかできない。責任のない庶民にはそれで咎められることはないが、高い立場の人にとってはみつともないことである。
六 三	我が生を観て進退す。	隙間からのぞくように、限られた範囲しか見られない。軽々しく動かず、女性のように慎みを守るのがよい。
六 四	国の光を観る。用(もつ)て王に賓(ひん)たるに利あり。	自分の生き方をよく見つめ、進むべきか退くべきかを判断する。
九 五	我が生を観る。君子なるときは咎(とが)なし。	国の盛んさや王の徳を目にする。王のもとに賓客として赴くのにふさわしい時である。
上 九	その生を観る。君子なるときは咎(とが)なし。	自分のいつもの行いをよく振り返って見るべきである。その行いが君主として恥ずかしくないものであれば咎めはない。
		民から自分の行いを見られている。その行いが君主として恥ずかしくないものであれば咎めはない。

運 勢	精神的なことなどの目に見えない面で吉あり。逆に物質的なことなど具体的な面では望みは薄い。祭祀や信仰に関わることがある時。
願 望	教育、学問、芸術の望みは叶う。品行を正しくして、私利私欲に走らないこと。
恋愛・関係	お互いに伺い見ているままため、親和は得られない。一度、交友を厚くすると良い。
結 婚	考えすぎてまとまらない。時間を掛けても良いので、停滞しないよう着実に進めること。
性 格	大人しすぎて引っ込みがち。決断力乏しく迷うことが多い。プライドが高く保守的な人。
事業・方策	外見は良いが、内面の事情が悪い。他人から見本とされるような体制を整えると良い。
住 居	新築・増改築・移転は見合わせるのが良い。
相 場	動きとしては小幅。高値圏にあるときは、そのまま維持することが多い。
旅 行	精神的にリフレッシュするような旅が特に吉。旅先での盗難には注意。
病 気	高血圧、肩こり、背中痛み、頭痛、食欲不振、流行り病、風邪など。表面上は軽く見えるが、実際は重症なことが多い。重病は命の危険あり。